

キッズみんなの日記

2026
高原教室
特別号

九月に入っても、まだまだ暑い日が続きますね。夏休みは終わりましたが、厳しい暑さを考えると、なかなか夏が終わったという感じがしません。そんな中、八月に行われた高原教室では、こちらよりもずっと涼しく、朝には高原らしい清々しい空気を感じる事ができました。

さて、今回の「みんなの日記」は、毎年恒例の「高原教室特別号」です！高原教室の最終日に、参加した塾生みなさんに作文を書いてもらいました。楽しかったこと、頑張ったこと、友達との思い出など、それぞれが高原教室で感じたことを素直な言葉で綴ってくれています。私たち講師が紹介する高原教室とはまた違った、子どもたちの目から見た「高原教室の生の姿」を感じていただけたと思います。それでは、今年の高原教室で生まれた皆さんの思い出をお楽しみください！

優秀作品紹介



★感じたことをストレートに★

ぜんぜん終わらない漢字

「ぜんぜん終わらない。」ずっと勉強しているのに、終わるけいはなくて心が折れそうでした。ずっとやっていたらお昼ご飯になっちゃってものすごく絶望しました。ご飯中に元気がなくて友だちが「だいじょうぶ？」と言って心配してくれました。やさしくて少し元気が出ました。

温泉にみんなでしゃべりながら入って楽しかったです。少しすっきりして勉強がス

ムースにすすめやすくなりました。

その後もがんばって勉強しました。とちゅうで友だちの勉強が終わって一人になっちゃったけど、がんばって勉強して一日で終わりました。とてもうれしかったです。

次の日はよく習勉強もできてとてもまんぞくでした。

また来年もがっしゆくに行きたいです。

（小五 UNさん）

勉強で悔しい思いをしたこと、そして、友だちの大切さを忘れないでくださいね！そして、来年も高原教室に参加してくださいね！先生も楽しみにしています！

★★★思い出を表現豊かに★★★

初めての高原教室

僕は、今回が初めての高原教室でした。今まで来たことのない場所で最初は少しドキドキしていたけれど、だんだんと楽しくなり、友達や中二、中三の先輩たちとの仲も深めることができました。

たくさん遊び方法がありました。今回泊まった所には、たくさんさんの遊ぶ方法がありました。

ごはんもあり、すごく楽しかったです。ただ、遊ぶには課題を終わらせなければいけません。国語、数学、英語の三教科をテストしました。数学と英語は受かったけれど、国語の漢字百問テストが難しく、一回落ちてしまいました。たくさん勉強しても、分からないところがあり、勉強を十周以上しました。そして再テストをし、やっと受かることができました。楽しくて、少し辛くて、とてもいい学習



になったと思います。

（中一 TK君）

「ドキドキ」からだんだん変わっていく心情の変化を上手に表現していますね！学年を超えた友情が芽生えることも高原教室ならではですよ！これからも仲良くしてね！

友達と楽しんだ高原教室

私は高原教室の前日まで、スマホが手元になかったり、テレビが見れなかったりしてとても不安でした。そんな高原教室で学んだことが二つあります。

まず一つ目は、スマホやテレビがなくても楽しめる、



ということですね。いつもならゲームをしている時間、ずっと友達と話していました。最初はゲームをしたい、テレビを見たい、と考えていたけれど、話しているうちに、「もっと話したい。楽しい。」と考えていました。

二つ目は、リアルでの友達との接し方です。いつもなら一緒にゲームをしたり、ラインで話していたことが、現実になるとより盛り上がり、目の前で目と目を合わせ話すことがより楽しく感じられました。

このように、高原教室では友達との良い接し方を学び、充実した三日間を過ごすことができました。

（中一 Tーさん）

そうですね！スマホなんかなくなっちゃって、いや、むしろスマホがない方が楽しそうですね！コミニケーションが対面してこそ、より分かり合えるものです！大切なことを学びましたね！

初めての高原での努力

一日目、ホテルに着いて少ししたあとは勉強の時間。みんな一斉にテストを始めて時間が経つと少しずつみんな終わっていた。

私は国、英は一発で合格できたけれど数学は不合格になってしまった。班のメンバー

はほとんどが全教科一発合格でみんな帰った中、再テストのために勉強をした。だが、その再テストで不合格になってしまい、一人だけ学習部屋に残り、遅くまで遊ばず、勉強を進めた。

二日目、みんな合格して



いる中、私一人だけ二日目も勉強することになった。夜になっても合格できず、先生とは何回も練習した。その結果、合格することができた。私はすぐにその先生に伝えに行き、お礼を言った。先生はすごく喜んでくれた。友達にも伝えたら、みんなおめでとう！と言ってくれた。たくさん努力して本当によかったと思った。

（中一 INさん）

課題がなかなか終わらなくて大変だったと思うけど、この努力を本当に良かったと思うてくれて、先生は嬉しいですね！この気持ちの次のステップに繋がります！これからも頑張ってくださいね！

☆☆☆想いをより具体的に☆☆☆

夏合宿ザ・セカンド

今年の夏合宿は二回目となり、学習、人間関係ともに、去年の経験を活かすことができたと思います。

まずは、学習についてです。去年はうれしいことに一位通過で終わりましたが、図に乗らず、しっかりと勉強してテストに挑みました。結果、二年生の中で五番目くらいに一発合格で無事終わらせることができました。

次は、人間関係についてです。

今回は、少し話したことあるけどあまり仲良くなれていなかった子どもと一緒にした。しかし、部屋



などで会話を深めると共に、関係性も深くなるのができ、人と話す大切さ、人間関係の大切さを学ぶことができたと思います。

中三になるときに、最後の夏合宿があります。特に学習の量が多くなり、大変になつていくと思われます。今回の合宿ではこれまでの経験を活かして勉強に努めたいとより一層思うことができました。とてもよい経験になりました。

(中二 SAさん)

高原教室は人をもう一つ上の自分へと成長させてくれる学びの場だと思います。彼女の成長したようでした。来年は受験学年ですけど、一緒に頑張りましょう！

高原教室で感じたこと

自分はこの高原教室を通して感じたことが二つあります。

一つ目は、友達との交流は



とても大切だと感じたこと
です。今年は二回目の高原教室で新しい人も班にいて、仲良くなるか少し不安でした。しかし、一日目のテストで自分の班が全員一発合格でみんなとてもよこび合っていました。そこで自分は、やはり高めあえる友達は大変だと感じました。

二つ目は、テストに向けての勉強は大変だと感じたことです。去年は全教科とても勉強して安心してテストを受けたのですが、今年は少し勉強不足のままテストを受けたので、もっと前から勉強したほうが良いと感じました。

また来年も高原教室に来ますが、今年の反省を活かして、悔いのない高原教室になるようにこれからも頑張っていきたいです。

(中二 YA君)

高原教室で学んだ二つのことを自分の気持ちで踏まえつつ上手に表現できていますね！来年はもっと飛躍の高原教室になるよう、頑張ってくださいね！

解

私はこの一ヶ月間ずっと緊張と不安でいっぱいだった。



ある日の授業中配られたプリント。そこには見たことのない呪文のような文字が書かれていた。初めて自分で解いてみたとき、丸が全くつかなく、「自分にできるはずがない」と諦めたくなった。しかし塾に行く、すでに覚えている人がたくさんいた。それが私の負けず嫌いに火をつけた。その日から塾の休み時間、帰った後、寝る間もおしんで勉強に励んだ。

そして高原当日。行きのバスでは課題を何とかしていかない不安なくらい緊張で、朝食がのを通らなかつた。

ついに試験が始まった。シャープペンを持つ手が痛かったけれど動きを止めたら二度と動かせない気がしなく、夢中で書き続けた。私の緊張を解く言葉が響いた。

「合格、すべて終わります。」

(中三 OHさん)

まるで小説のように、彼女の高原教室についてのストーリーが心豊かに表現され、結びの放送の声で努力が実ったことを、嬉しい気持ちで表現しています！素晴らしいです！

時間の使い方

私はこの高原教室でスマホやテレビを使わずに過ごして、普段自分がどれだけの時間を消費していたのかを痛感しました。

普段は時間も忘れて触っているスマホがないことで、高原



教室中に何もすることがないと一日目はとほくにうていまして、二日目、三日目と時間が過ぎていくうちにそれも感じなくなっていました。そのため、何もすることがないと感じていた時間は勉強する時間に変化していました。自分が今までスマホを触っていた時間は勉強できるチャンスの時間だったことに衝撃を受けました。

だから私は、これからスマホやテレビに使用していた時間はできる限り勉強しようと思えました。

(中三 INさん)

デジタルデトックスの大切さを知ることが高原教室の学びの一つです！これからは勉強の時間を増やせそうですね！志望校合格を目指し、共に頑張りましょう！

高原教室で学んだこと

私は今回の高原教室で学んだことが二つあります。

一つ目は、計画的に勉強を



しておくことの大切さです。私は高原教室前に勉強したものは、すぐに合格することができたけど、あまり手をつけていなかったものは、不合格で再テストになりました。課題が終わらないと、自由な時間が減ってしまうので、計画的な勉強が大切だと思いました。

二つ目は、課題が終わった後の嬉しさです。最後の課題が終わったとき、今までに感じたことのない達成感や開放感を味わうことができて、「課題をクリアすることがこんなに嬉しいんだ」と感じるようになりました。

今回の高原教室で学んだことを活かして、約半年後にある受験に向けて頑張りたいと思いました。

(中三 TAさん)

頑張った人には必ず、褒美があり、サボってしまった人は必ず後で大変なことになるんです。また、「達成感」、これも重要です！自分を成長させる大切なことを学びましたね！

高校一年生の高原教室で学んだことが、私が高原教室で学んだことは、目標から逆算して計画を立てることです。なぜなら、課題を合格した時に得られるものがあるからです。去年は受験生だったこともあり、課題に対して計画を立てて取り組んでいました。そのおかげで全教科を一発合格することができました。しかし今年、直前になってから慌てて勉強してしまいました。その後、再テストを受けてようやく合格できたのに、去年よりも心が動かなくなりました。

今年と去年の違いは、課題に対してしっかり準備していたかです。辛いことや苦しいことから逃げずに準備して得ることができると達成感の良さを知ることができました。また、目標から逆算して計画を立てて、しっかりと準備することの大切さを感じました。

来年も参加することができた、成長した姿を見せられるようにしたいです。

(高一 AKさん)



高校生になるとなかなか勉強に身が入らなくなるものです。高原教室で逆算して勉強することの大切さを再確認できたことは意義として大きいですね！来年も参加してね！

●「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@kondai.comまたは、編集担当▼藤田 n-fujita@kondai.com まで、ご返信ください。

皆様ののご意見を参考に、より良い紙面作りに努めて参ります。